



没入型映像空間による 保安検査シミュレーション体験

参加費
無料

空港の事前学習として、没入型映像空間を活用した体験型学習コンテンツを用いてその効果を検証するとともに、実装が可能なシミュレーション教育のあり方を探る研究事業です。
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー研究・活動助成採択事業)

体験会開催日時

12/28 日 1/17 土 30 金 31 土 2/7 土 14 土 15 日

9:30-19:00・事前申込み制（1組 約70分）

対象

小学生～高校生

発達支援を受けていて、飛行機に乗ることに不安のある
小・中・高校生で、時間割の準備（翌日の学校の準備）を
1人でできる方。＊児童の養育をしているご家族の同伴必須

お申し込みはこちら

定員

35名

場所

Shibuya well-being Lab.（渋谷区勤労福祉会館1F）
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-19-8（渋谷駅徒歩8分）



体験の流れ

- 事前アンケート（約10分）
※事前に記入し、当日ご持参をお願いいたします。
- 集合・研究説明（約10分）
- イマーシブ空間による保安検査体験（約30分）
- 体験終了・ヒアリング（約15分）
- ご自宅での事後アンケート（期限：体験の翌日から1週間以内）

必ず裏面をお読みいただき、
お申し込みください

ご自宅帰宅後の事後アンケートご入力を確認後、ハチペイポイントのギフトコードをメールにて送付させていただきます。

お問
合せ
先

一般社団法人SnoezeLab.

✉ info@snoezelab.com

🌐 www.snoezelab.com

『Testbed City Shibuya』主催：渋谷区グローバル拠点都市推進課

『Testbed City Shibuya』に関するお問い合わせ

TEL 03-3463-2369 渋谷区グローバル拠点都市推進課



体験にあたってのご確認

当日の流れ

○集合・研究説明（10分程度）

お子さまの不安やこれまでの経験について事前に簡単なアンケートに回答をお願いいたします。当日改めて研究内容をご説明させていただきます。

○イマーシブ空間へ体験（30分程度）

体験中のお子さまの様子（落ちつき・迷い・動作の流れなど）をスタッフが行動観察（参与観察）します。

※後日、行動の確認をするため、録画しますが、許可無く外部に出すことはいたしません（外部に出す場合は別途同意を取得します）。

○体験終了・ヒアリング（15分程度）

事前の不安がコンテンツを体験することによって、どのように変化したかなどヒアリングします。

なお、ヒアリング内容については、当日メモを基本としますが、後日、確認をするために録音をして残しておく場合もあります。録音記録は、許可無く外部に出すことはいたしません（外部に出す場合は別途同意を取得します）。

※事後アンケートは、ご自宅に戻られてからご記入ください（期限：体験翌日から1週間以内）。

アンケートのご入力を確認後、ハチペイポイントのギフトコードをメールにて送付させていただきます。

1 考えられうるリスクと その対応方法

初めての場所や、非日常空間であることを理由に、不安状態・パニックになったりすること等が考えられます。

また、没入型映像空間という非日常的な環境であるため、児童によっては体験に際してネガティブな反応を示すことや、興奮状態になる可能性が考えられます。自身の発達段階と学習ゲームの難易度のバランスによっては苛立ちを感じる可能性もあります。

こうしたことを踏まえ、いずれも日常的に携わっているご家族を参加の条件とします。基本的には本人も同意の上での参加とし、可能な限り本人への事前説明を行うこととします。万が一、強度な不安や痙攣になった場合でも落ち着かせる方法（一定時間毎の休憩と静かに落ち着ける場所）を準備します。

なお、研究対象者が行動中には、同行するご家族や、心理士または研究者がそばについています。

研究対象者の調子に異変を感じた場合には、すぐに駆け付け、何か問題があった場合にすぐに調査を中止することが可能な体制を取ります。

2 個人情報の保護

調査で得られた個人情報および調査で記録したデータは、この研究を遂行する目的にのみ利用し、また研究責任者と共同研究者以外に共有されることはありません。

・本研究にご参加いただいた後に同意を撤回した場合、提供いただいたデータは廃棄させていただきます（ただし同意撤回の段階で連結不可能匿名化されている場合、または既に研究成果として公表されている場合等については、この限りではありません）。

・記録したデータは連結可能匿名化という方法により匿名化した状態で利用します。またデータは（紙媒体／電子データ／その他）で2035年3月31日まで（中央大学3号館12階丹羽研究室）にて保管します。保管期間を過ぎたら、（紙媒体はシュレッダーを用いて／電子データはコンピュータからの完全消去およびハードディスクの物理的破壊をもって）廃棄します。

学会や学術雑誌における研究結果の公表においては、個人情報の守秘に細心の注意を払い、名前や身元等に関する情報は一切発表しません。

3 研究協力の任意性

本研究へのご参加（ご協力）の同意は、あなたの自由意思によって任意にお決めいただくものです。同意いただいた後でも、あなたが希望されれば随時同意を撤回できます。ご同意いただけない場合や同意を撤回した場合でも、不利益になることはありません。

また、アンケートへの回答も任意であり、アンケートへ回答しない場合でも不利益を受けません（謝礼のお渡しはアンケートをご回答いただいた方を対象とさせていただきます）。

研究責任者：
一般社団法人SnoozeLab. /Relax'Creation project株式会社 橋本敦子

共同研究者：
中央大学研究開発機構 機構准教授 丹羽菜生
大阪大学大学院連合小児発達学研究科 特任助教 村田絵美

※本研究課題は、中央大学が設置した「中央大学における人を対象とする研究倫理審査委員会」で審査され、承認されたものです。